

# シンガポールの医療環境について

## 【はじめに】

私の将来の夢は新生児科医の医師になることである。私は、海外に行ったことがないので、まだ、日本との医療の違いを具体的にイメージすることができない。そのため、この研修でシンガポールと日本の医療の違いを知ることによって、海外で活動する医師という夢を具体的にしたり、選択肢を広げたりしたい。

シンガポールに行く前に日本とシンガポールの医療制度や技術の違いについて調査した。

医療制度について、日本は国民健康保険制度であるのに対し、シンガポールは自分で将来の資金を積み立てる医療積立金制度と入院費用や手術費の他、高額な医療費について保障する3つの保障制度があることがわかった。これは、日本は助け合いの精神に基づいていて、シンガポールは自立・自助の精神に基づいているという考え方の違いが影響していると考えた。

また、シンガポールでは多くの企業、大学、研究機関で次世代製品の開発が行われており、医療技術が高いことがわかった。

## 【シンガポールでの調査】

私のバディが普段行っているNational University Hospital (NUH) に行った。NUHは国立大学病院で、シンガポールの有名な学術医療機関である。

### 1. 病院内

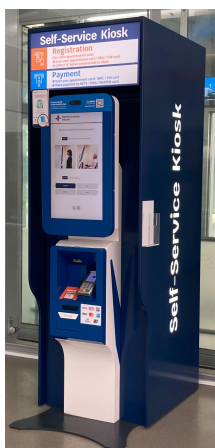


これは病院の入口である。シンガポールは窓がない建物が多く、病院も窓がなかった。通路の部分と各科のゾーンの間はガラスで仕切られており、中は他の建物よりも窓が少ないように感じた。

右下の写真は救急車の写真である。ヘビと杖が描かれた青いマークは「スターオブライフ」という、アメリカ救急のロゴとして採用されたマークで、世界中でシンボルマークとして使用されている。日本と同様に左下の写真の救急車専用の入り口がメインの入り口とは別の場所にあった。



## 2.医療費と支払い



外来患者 ( 専門外来・専門サービスセンター )		
医者	相談料	
	プライベート	補助金あり
<b>初回訪問</b>		
上級コンサルタント	\$173.88	\$25.50 \$63.75
コンサルタント	\$151.20	
アソシエイトコンサルタント	\$133.92	
上級レジストラ/レジストラ		
<b>再訪問</b>		
上級コンサルタント	\$125.28	\$23.70 \$59.25
コンサルタント	\$114.48	
アソシエイトコンサルタント	\$103.68	
上級レジストラ/レジストラ		

病院には左上の写真のSelf-Service Kioskがあり、患者はそこで医療費の支払いをする。日本ではまだ受付で現金での支払いをすることも多く、シンガポールのキャッシュレス化や機械化が進んでいることやNUHの規模の大きさが現地で見てわかった。

下の表は2023年7月1日時点での外来患者の料金表である。シンガポールドルは約108円なので初診で上級コンサルタントだと18779.04円かかり、医療費が高額であることが改めてわかる。

## 3.NIHON PREMIUM CLINIC

シンガポール在住の日本人のためのクリニックである。日本人の医師が勤務しており、様々な分野に対応している。また、病気やけがの治療だけでなく、予防接種や健康診断も行っている。

### 【まとめ】

日本と比べて、国民健康保険制度がないため医療費が高く、資産をたくさん持っている人が多いと感じた。また、病院の施設や医療費など表面的なことを知ることができ、日本と似ている点もあるが、自然環境や考え方によって異なっている点もあることがわかったため、医療技術や医療システムなどもっと詳しいことについて日本とどのような違いがあるのか知りたいと思った。

NIHON PREMIUM CLINICでは実際に海外で活躍している日本語も英語も話す医師をみることで、海外にある日本人のための病院で働くという新たな選択肢を見つけることができた。

### 【おわりに】



私はバディと一緒にSports Festivalのボランティアに参加した。現地の子どもたちと接したり、バディの友達とも仲良くなったりすることができて、とても貴重な経験になった。

ホストファミリーと対面した日は何を言っているのかもわからず、日本に帰りたかったが、帰国日にはホストファミリーに笑顔で日本との違いを伝えていた。この研修で受けた刺激を忘れず、英語の勉強をたくさんして、来年、バディが来るのを楽しみに待ちたい。